ALEXON

http://www.alexon.co.jp/

株式会社 アレクソン

〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島4-3-24新大阪木村第3ビル

お問い合わせ先　サポートセンター　東京　☎03-5645-8571
大阪　☎06-307-3237
受付時間：月曜～金曜　10:00～12:00・13:00～16:30
(祝祭日、年末年始、弊社休日を除く)

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

TIM2001C

ALEXON

ISDN
TERMINAL ADAPTER

取扱説明書

ISDNターミナルアダプタ

TD503α／T503α

電話編

Users Manual

はじめに

このたびは、TD503αまたはT503αをお買い上げいただき誠にありがとうございます。TD503α・T503α（以下、共通の記述に関しては「503 α」とします。）は、NTT「INSネット64」とパソコンやモデム及び電話機やFAX等を接続するためのターミナルアダプタ（TA）です。

TD500シリーズはDSU内蔵、T500シリーズはDSU非内蔵です。
両シリーズは設置時の接続方法が異なるだけで、機器の操作方法は同一です。

503αにて快適な通信環境を実現するために、ご使用前に取扱説明書をご精読下さいますようお願いいたします。
503 αには、以下の３冊の取扱説明書が添付されています。

Ⅰ．設置編

503 αを使用するための基本的な準備や手続き、サポートに関する取扱説明書です。

Ⅱ．電話編（本書）

503 αの多彩な電話（TELポート）機能に関する取扱説明書です。

Ⅲ．デジタル通信編

503αを使用したデジタル通信（DATAポート）機能に関する取扱説明書です。
インターネットの接続方法から各種コマンドの説明を記載しています。

503 αを安全にお使いいただくために、「Ⅰ．設置編」に記載されている「安全上のご注意」は必ずお守り下さい。お読みになった後は大切に保存し、必要なときにお読み下さい。

輸出する際の注意事項

注意　本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承下さい。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ご注意

（1） 本書及び本製品の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。
（2） 本書及び本製品の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書及び本製品は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡下さい。
（4） 本製品（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、（3）項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
（5） 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承下さい。

INSネット64はNTTの商標です。
その他、記載されている各会社名及び各製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

はじめに 1
目次 2
１．主な電話機能 4
１－１．電話操作説明上の基礎用語 4
１－２．フレックスホン 5
１－３．疑似フレックスホン 7
１－４．その他の主な対応サービス・独自機能 8
２．基本操作 10
２－１．電話をかける 10
２－２．特殊な番号をかける（特殊ダイヤル） 11
２－３．直前にかけた電話番号に再度かける（リダイヤル） 11
２－４．電話を受ける 12
２－５．内線を呼び出す（内線呼出） 13
２－６．外線通話を内線にまわす（内線転送） 14
２－７．通話中に外線がかかってきたら（割り込み着信） 15
３．便利な機能 16
３－１．設定のしかた 16
３－１－１．電話を使った設定 16
３－１－２．マルチジョグを使った設定 18
３－１－３．パソコンを使った設定 18
３－２．便利な電話のかけ方［発信関連］ 19
３－２－１．マルチジョグで電話をかける（電話帳） 20
３－２－２．短縮ダイヤルで電話をかける 22
３－２－３．電話をかける時に電話番号も通知する（発信者番号通知） 24
３－２－４．番号通知を変更して電話をかける（プリフィックス発信１） 25
３－２－５．機器種別を変更して電話をかける（プリフィックス発信２） 26
３－２－６．この通話中だけ割込音を鳴らさないようにする（プリフィックス発信3） 27
３－２－７．履歴ダイヤル（発着信履歴） 28
３－２－８．通話を保留にして別の相手に電話をかける（通信中発信） 32
３－２－９．オフフックで電話をかける（オフフック発信） 34
３－２－10．ダイヤル方式の電話機を使用する 34
３－２－11．ダイヤル完了タイマの設定 35
３－３．かかってくる電話をコントロールする［着信関連］ 36
３－３－１．接続電話に別々の電話番号をつける（ダイヤルイン） 37
３－３－２．サブアドレスを使う［発着信対応］ 38
３－３－３．電話を発信専用にする（着信拒否） 40
３－３－４．通話中にかかってきた電話をうける（コールウェイティング） 41
３－３－５．メインの電話機とサブの電話機を決める（優先着信） 44
３－３－６．特定の相手からかかってきた時、他の電話には取らせない（プライベート呼出） 45

３－３－７．特定の電話番号だけを着信させる（識別着信） 46
３－３－８．TEL ポートに機器属性をつける（機器種別） 48
３－３－９．ナンバー・ディスプレイ対応電話機を使う 49
３－４．かかってくる電話をコントロールする［呼出音関連］ 50
３－４－１．INS なりわけサービス 51
３－４－２．特定の相手から電話がかかってきたとき、呼出音を変える（疑似なりわけ機能） 52
３－４－３．FAX を無音で受ける（新無鳴動着信） 53
３－４－４．他の電話よりも遅らせて鳴らす（遅延呼出） 54
３－４－５．内線呼出音を変える（内線呼出音） 54
３－４－６．呼出音の周波数を変える（呼出音周波数） 55
３－５．電話を転送させる［転送関連］ 56
３－５－１．かかってきた電話を自動的に別の電話に転送する（着信転送・フリー転送） 57
３－５－２．フリー転送の制御 60
３－５－３．通話中の電話を転送する（通信中転送） 62
３－５－４．転送先が話し中の時、他の電話に転送させる（追っかけ転送） 63
３－５－５．何回か電話を鳴らした後、転送させる（遅延転送） 64
３－５－６．外出先から着信転送 をセットする（リモート設定１） 65
３－５－７．外出先から転送先を変更する（リモート設定２） 68
３－５－８．転送時にアナウンスを流す（転送アナウンス） 69
３－５－９．INS ボイスワープ 70
３－６．その他の便利な機能 71
３－６－１．別々の電話の二人と同時に話す（三者通話） 72
３－６－２．コールバック機能を使う 73
３－６－３．PHS などから遠距離に電話をかける（中継機能） 76
３－６－４．通話を保留にして、他の TA に接続している電話で受ける（通信中機器移動） 78
３－６－５．モーニングコールを利用する 79
３－６－６．電話のボリュームを調整する（通話音量） 80
３－６－７．通話料金を調べる（料金表示） 81
３－６－８．ISDN 網からの切断音がなくなった後の制御（ローカル切断音） 82
３－６－９．切断信号（CPC）の設定 82
３－６－10．フッキングの設定（フッキング制御） 83
３－６－11．フッキング関連微調整（フッキング微調整） 84
３－６－12．フッキングを＃ボタンで代用する（フッキング代用） 86
４．付録 87
４－１．通話操作一覧 87
４－２．TEL ポート設定操作一覧 88
４－３．設定内容表示操作一覧 90
４－３－１．電話操作による設定内容表示操作一覧 90
４－３－２．マルチジョグ操作による設定内容表示操作一覧 92
４－４．索引 94
４－５．補足説明 96

1．主な電話機能

503αはTEL（アナログ）ポートが３つあり、各ポートに電話やFAXなどを接続できます。本章では、503αが持つ主な機能のうち、操作上の留意点を各機能毎に説明しています。
なお、本章及び本取扱説明書に記載の月額サービス料金及び工事費（初期費用）は、1998年１月現在の金額です。あらかじめご了承ください。また、工事費には別途基本工事費等がかかりますので、正確な料金は各サービスの窓口にお問い合わせください。

1－1．電話操作説明上の基礎用語

フッキング

本取扱説明書には、フッキングという単語がたびたび出てきます。
フッキングとは電話のフックをスイッチのように押して、すぐに戻すことをいいます。フックを押している時間が、１秒未満であればフッキングとして認識します。（フックを押している時間が１秒以上だと電話が切れ、逆に、軽くたたいただけでは、フッキングとして認識しない場合もあります。なお、このフッキング認識時間等は、設定により変えることが出来ます。）
コードレスホンの場合は、キャッチ（ホン）ボタンで代用ができます。また、フッキング代用機能を使うとフッキングの代わりに＃で、フッキングの代用ができます。

オフフック

受話器を上げ、電話をかけられる（外線に接続）状態にすることをいいます。
503αでは、上記以外に電話機能の設定を行う場合にも利用します。

オンフック

受話器を電話機に降ろし、電話を切る（通話を終了する）ことをいいます。

電話回線

ISDN回線に対して従来からの電話回線（一般加入回線）を指します。

要契約

NTTやDDIと契約が必要な機能に記載しています。
料金が記載されていない機能は基本的に無料ですが、ご契約の際には金額等を念のため、ご確認ください。

要契約

機能を使用するには契約が必要ですが、503αだけでも同様の動作が、実現可能な機能に記載しています。（例：疑似フレックスホン・フリー転送等）
但し、非契約での同様な機能は回線をフルに利用する場合がありますので、利用中には他の通話が使用できない等の制限があります。機能の使用頻度によって使い分けください。

1－2．フレックスホン　要契約

月額使用料：　1,000円/４サービス利用/１回線
工事費：　1,800円※1

１つの機能または２つ以上の機能を利用しない場合、利用しない１機能ごとに200円を減額計算します。
INSネット（ISDN）の代表的な付加機能サービスの一つです。
次の４つのサービスを総称してフレックスホンと呼びます。個々のサービスを選別して申し込みすることも可能です。

- **コールウェイティング**
- **通信中転送**
- **三者通話**
- **着信転送**

503αは３つのTELポート共にフレックスホンをサポートしています。
例えば、２つのポートに接続した電話で個々に三者通話を同時に行うことも可能です。

	コールウェイティング	通信中転送	三者通話	着信転送
同時利用	○	○	○	×

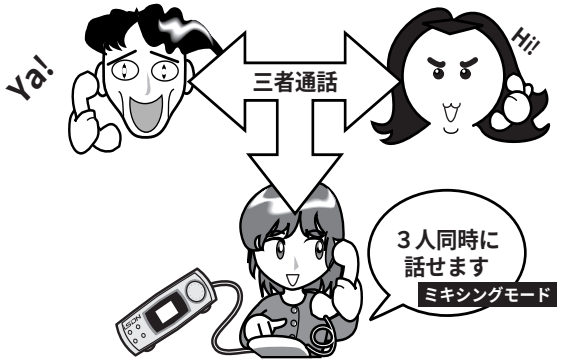
コールウェイティング

通信中に着信があった場合に、通信中の相手を保留し、その着信に対応することができる機能です。（電話回線のキャッチホンと同様の機能です。）

※1　NTTでの施設設置負担金の支払いを要する工事及び同工事と同時に施工する工事については、必要ありません。

三者通話

通信中に第三者を呼び出し三者間で通話することができる機能です。通信中の相手と保留中の相手を切り替えて通話する「切替モード」と三者が同時に通話する「ミキシングモード」の２つのモードがあります。

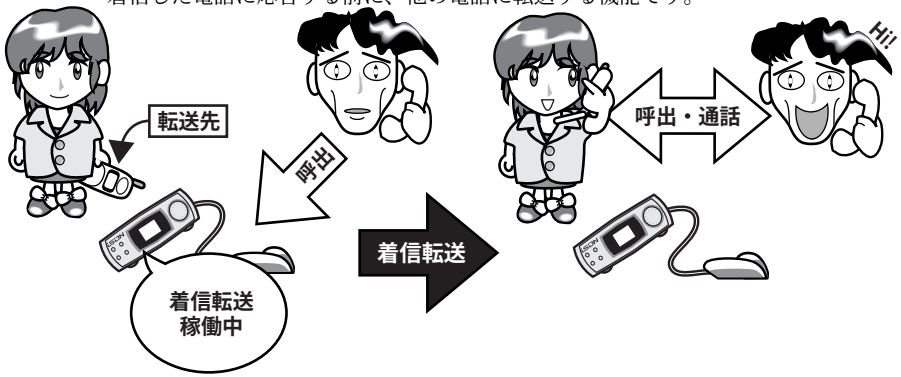


通信中転送

現在行っている通信（通話）を第三者に転送できる機能です。コールウェイティングや三者通話の状態から移行することもできます。

着信転送

着信した電話に応答する前に、他の電話に転送する機能です。



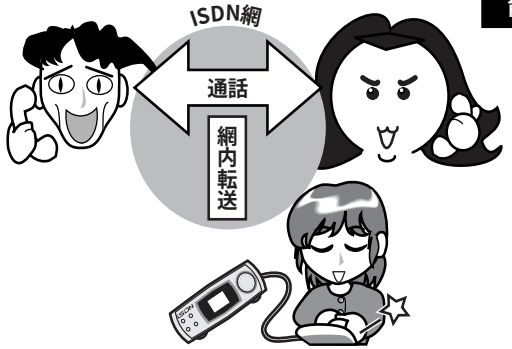
１－３．疑似フレックスホン

503 αの機能によりフレックスホンを擬似的に実現する機能です。**コールウェイティング・通信中転送・三者通話（切替モードのみ）・着信転送**を行うことができます。
INSネット64が、電話を２通話同時にできることを利用して、フレックスホンと同様の機能を実現していますので、疑似フレックスホンを利用している最中には他※2の通話・通信ができない、他※2で通話・通信を行っている場合には疑似フレックスホンを利用できないなどの制限があります。
逆にフレックスホンでは現在（1998年1月現在）行えない転送先が不在の場合、第２転送先へ転送する事や503 α側から２個所に電話をかけての通信中転送などもできます。

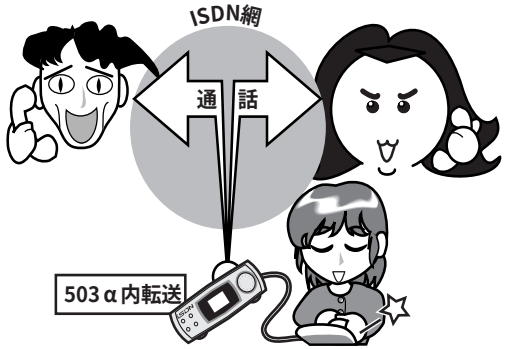
なお、フレックスホン契約を行った場合には、擬似フレックスホンよりもフレックスホンが優先されます。

例 **フレックスホンと疑似フレックスホンの違い（通信中転送）**

フレックスホンの場合



疑似フレックスホンの場合



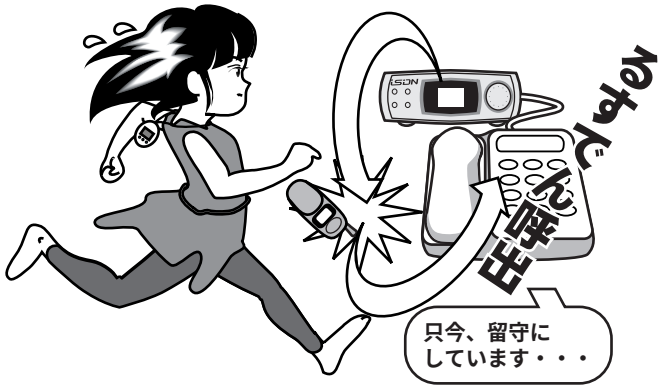
追っかけ転送（フリー転送）

疑似フレックスホンでの着信転送（フリー転送と呼びます）機能の１つです。
転送先が話中やエリア外の場合、自動的に第２転送先を呼び出します。

※2　同一回線上の機器も含みます。

るすでん呼出（フリー転送）

疑似フレックスホンでの着信転送（フリー転送と呼びます）機能の１つです。
全ての転送先が話中やエリア外の場合、自動的に転送を中止し、本来のTELポートを呼び出します。留守番電話を使用されている場合、転送が失敗しても留守番電話に録音できるようになり、大変便利です。



中継機能

サブアドレスと発信者番号通知を利用して、503αを中継して他の電話と通話する機能です。
PHSから携帯への電話や遠距離通話時に、課金のほとんどを503αに持たせること（PHSから503αまでの課金はPHS側）ができます。
中継機能にはフレックスホンの着信転送機能もしくはフリー転送を使用します。
着信転送契約をしていない場合に、フリー転送禁止の設定にすると中継機能は使えなくなります。

１－４．その他の主な対応サービス・独自機能

ダイヤルイン　要契約

月額使用料：　900円/１追加番号
工事費：　　700円

着信時に着信電話番号を通知することにより、特定の通信機器に直接着信させることを可能にするINSネットの付加サービスの一つです。
本来の契約回線番号とは別に複数の電話番号を利用できます。
２世帯住宅やFAX専用に別々の電話番号を利用したいときに、大変便利な機能です。
なお、契約時に「グローバル着信を利用しない」を選択すると契約回線番号もダイヤルイン機能を付加され、料金対象になります。

グローバルセレクト機能

グローバル着信電話番号をダイヤルイン番号のように扱い、特定の通信機器に直接着信することのできる503αの機能です。
グローバル着信とは、着信電話番号を通知しない着信のことです。ダイヤルインを利用しない契約回線番号やグローバル着信利用の選択をした場合の契約回線番号がこれにあたります。

発信者番号通知

工事費：　　1,000円※３

電話をかける時に、相手に自分の電話番号を通知するISDNの基本サービスです。
503αは、発信者番号通知に発信・受信ともに対応しておりますので、呼出音が鳴った段階で、相手の電話番号を知ることができます。

INSナンバー・ディスプレイ　要契約

月額使用料（住宅用）:600円/１回線
月額使用料（事務用）:1,800円/１回線
工事費：　　2,000円

ナンバーディスプレイとは、電話回線用の発信者番号通知サービスです。
通知を受ける（受信）側が契約を行うサービスであり、契約を行うと、今まで電話番号通知がされていなかった電話回線からの電話も、発信者番号通知されるようになります。
503αは、ナンバーディスプレイにフル対応しており、市販のナンバーディスプレイ対応電話機やアダプタにも電話番号を表示させることができます。

プリフィックス発信

ダイヤル時、相手の電話番号の前に特定の番号を押すことで、一時的に（通話中）、機器種別の変更やコールウェイティングの禁止などができます。
503αでは、NTT準拠の186・184（いやよ）による発信者番号通知の有無を初め、独自機能として機器種別の変更やコールウェイティングの禁止なども可能です。

α -ALPHA ３　要契約

通話・通信を行うときに、自動的にDDIとNTT、日本テレコム、TWJ（日本高速通信）の通常料金を比較してお得な市外回線を自動的に選択して電話代を節約する機能です。
この機能により、DATA通信の節約やα -ALPHA ３に対応していない電話機もα -ALPHA ３を利用できるようになります。

※３　サービスのモード変更の際に必要です。